



洋上アルプス

No.243 平成27年6月5日

発行
林野庁屋久島森林生態系保全センター



バックナンバーや屋久島国有林における入林許可申請等様式のダウンロードはこちらにあります

http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/yakusima_hozen_c/



鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦1577-1

TEL0997-42-0331 FAX0997-42-0333



平成27年度 屋久島世界遺産地域連絡会議幹事会（第1回） 開催

平成27年度屋久島世界遺産地域連絡会議第1回幹事会が、5月25日（月）に鹿児島森林管理署会議室において開催されました。

主な議題として、山岳部の利用のあり方について、環境省から縄文杉周辺の整備（北側及び南側の代替デッキ設置等）については、平成27年度予定の説明が行われました。また、利用の適正化に向けた検討及び利用モニタリングの実施については、平成26年度に実施した利用モニタリング予備調査の結果等について報告があり、平成26年度の結果を踏まえ平成27年度のモニタリング調査計画の説明が行われました。



会議の様子

次に、屋久島世界遺産地域における平成26年度の事業実績と平成27年度の事業計画について、各機関から

説明が行われました。

また、ヤクシカWGと特定鳥獣保護管理検討委員会の合同開催の日程調整について事務局より、屋久島町入島税検討会議の方針について屋久島町よりそれぞれ説明が行われました。

平成27年度 有害鳥獣捕獲を開始



罾にかかったヤクシカ

今年度も当センター職員実行による有害鳥獣捕獲が始まり5月11日から笠松式くくり罾を設置しました。

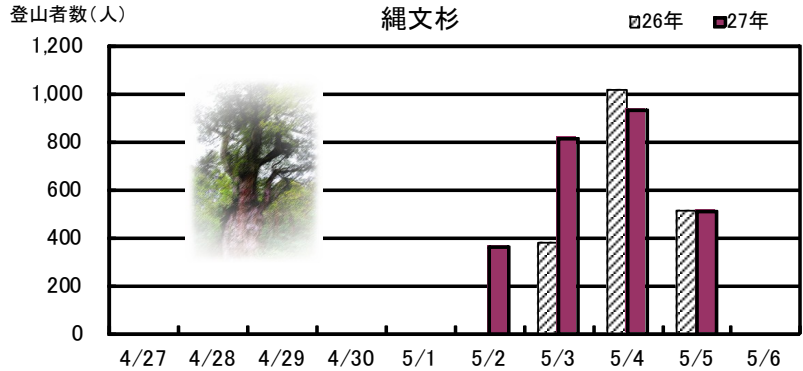
昨年は、屋久島森林管理署と当センターで合計384頭捕獲（島内全体では3年連続4千頭以上）して

います。また、屋久島の関係機関（森林管理署、屋久島町及び猟友会）がシカ対策推進協定を締結し地域全体でシカ個体数の調整に取り組んでいます。

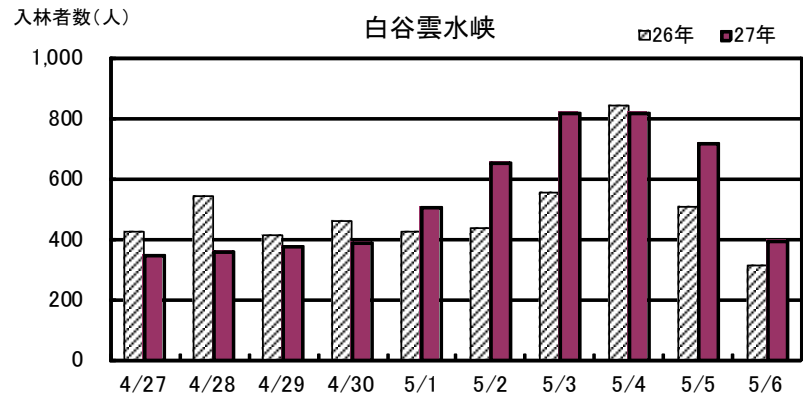
センターではシカの捕獲向上に当たり、通り道や出没の多い箇所にくくり罾を設置し、カラスザンショウ、ガジュマル等を誘因用餌として活用しています。なお、当センターHPでは「ヤクシカ好き嫌い植物図鑑」を掲載、採食植物190種、不採食植物31種などを説明しています。

GW期間中における縄文杉登山者数と自然休養林入林者数

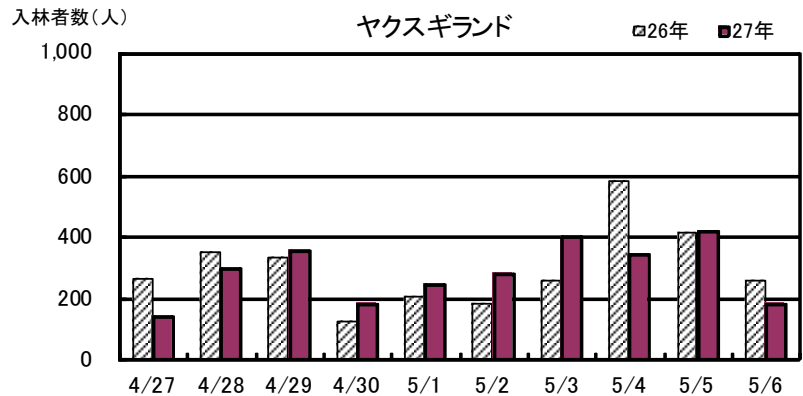
	縄文杉		
	26年	27年	前年比
5月2日	—	366	—
5月3日	384	815	+431
5月4日	1,016	933	-83
5月5日	518	512	-6
合計	1,918	2,626	
日平均	639.3	753.3	—



	白谷雲水峡		
	26年	27年	前年比
4月27日	427	347	-80
4月28日	545	360	-185
4月29日	417	380	-37
4月30日	463	392	-71
5月1日	425	509	+84
5月2日	437	656	+219
5月3日	555	817	+262
5月4日	844	821	-23
5月5日	507	722	+215
5月6日	313	395	+82
合計	4,933	5,399	+466
日平均	493.3	539.9	+46.6



	ヤクスギランド		
	26年	27年	前年比
4月27日	260	144	-116
4月28日	350	300	-50
4月29日	333	353	+20
4月30日	125	180	+55
5月1日	207	244	+37
5月2日	181	278	+97
5月3日	258	400	+142
5月4日	581	343	-238
5月5日	413	417	+4
5月6日	257	179	-78
合計	2,965	2,838	-127
日平均	296.5	283.8	-12.7



*縄文杉登山者数の26年は3日間、27年は4日間の合計及び平均。

*■：休日

*縄文杉登山者数は屋久島山岳部利用対策協議会の調査、自然休養林入林者数は屋久島レクリエーションの森保護管理協議会の調査による。

梅雨期は、増水に注意!!

月に35日雨が降るといわれている屋久島！東京の平均降雨量と比較すると平成26年は里地の宮之浦で約3倍、ヤクスギランドなどの森林や山岳部では5~7倍の10,000^{mm}以上にもなります。

昨年は大雨や台風等の影響によりヤクスギランドで16日間、白谷雲水峡で7日間入山禁止が行われました。また、白谷雲水峡では、増水の状況によってコース内の規制を行うこともあります。これから梅雨本番となりますのでご注意ください。



お問い合わせ先
屋久島レクリエーションの森保護管理協議会
☎ 0997 (42) 3508



屋久島中央部の植生垂直分布調査（平成24年度）

●標高1775㍍地点（No.4プロット）焼野三叉路付近の湿地

[プロット及び周辺の植生]

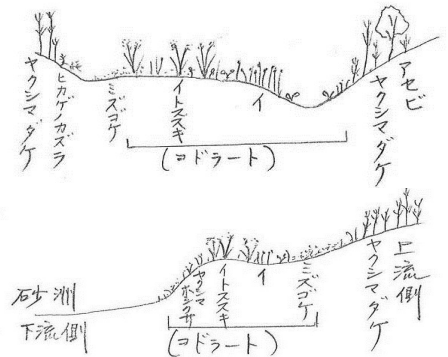
泥炭層が30～60㍍堆積し、その上にイトススキーミズゴケ群集が成立。コドラート内ではミズゴケ、イグサ、イトススキ、ヤクシマダケ、アセビが斑状に生えている。

[出現種]

アセビ	クロホシクサ	ハリコウガイゼキショウ	ヤクシマコオトギリ	ヤクシマフウロ
アリノウグサ	コケスマレ	ヒカゲノカズラ	ヤクシマシャクナゲ	ヤクシマホシクサ
イ(イグサ)	コメススキ	ヒメウマノアシガタ	ヤクシマショウマ	
イッسنキンカ	ツクシゼリ	ヒロハノコメススキ	ヤクシマダケ	
イトススキ	ツルリンドウ	フモトスマレ	ヤクシマタチツボスマレ	
イボミズゴケ	ノギラン	モウセンゴケ	ヤクシマニガナ	

[植生の変化考察]

前々回（H14）、ヤクシカの食害で本数が少なく矮生化していたイグサが、今回は前回に引き続き分布域を拡大し本数も増加していたが、その草丈は20～30㍍と矮小化したままであった。一方、過年度（H22）の花之江河・小花之江河の調査では、イグサはヤクシカの食害により相当減少していた。このことより、ヤクシカによる摂食の嗜好性には、年や地域による差が見られることがわかった。また、花之江河・小花之江河に生息する「ハベマメシジミ」の生息調査を、前回（H19）に引き続きこの湿地や平石周辺の沢頭にて実施したが、生息は確認できなかった。



図上：No.4プロットの群落横断面

図下：No.4プロットの群落縦断面



巨樹・著名木 屋久杉

川上杉

屋久杉は巨木で長い年月をかけ成長しているため、着生する木本類も様々です。川上杉には、マルバヤマシグレ、ヤクシマシャクナゲ、ヤマグルマ、ナナカマド、サクラツツジ、シキミ、ソヨゴ、アクシバモドキ、ハイノキ、ヒカゲツツジ、アセビ、スギが着生しています。

川上杉は林道建設の際（昭和48年）、予測線のほぼ真ん中にあり伐採の予定でしたが、当時の担当者が「巨杉を守る決心」からルートを変更し保存されました。



- 樹高：27.0㍍
- 胸高周囲：8.9㍍
- 樹齢：推定2千年
- 標高：1280㍍
- 場所：ヤクスギランドから安房林道沿い6.4㍍先（林道上）